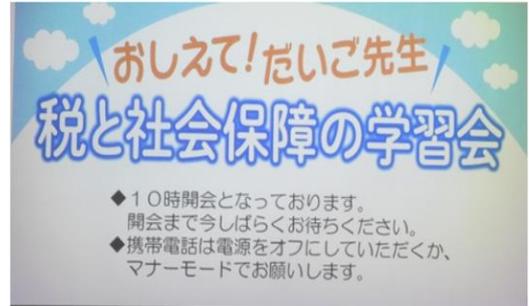


おしえて! だいで先生!
税と社会保障の学習会(3回シリーズ)を開催しました。

9月20日(水)かごしま国際交流センターにて、生協コープかごしまと鹿児島県生協連の共催で、醍醐聡さん(東京大学名誉教授)を講師に迎えて「税と社会保障の学習会」を開催しました。当日は生協の組合員・職員及び一般の方も含め34名が参加しました。



鹿児島県生協連東垂水専務より開会あいさつの後、早速醍醐さんの講演が行われました。講演では、消費税の仕組み～納税者と負担者が異なること、課税取引・非課税取引・ゼロ税率取引、そして消費税の問題点として「逆進性」と「転嫁」の問題点をお話いただきました。その後会場からの質問にも細かく丁寧に説明いただきました。

<参加した方のアンケートの中から抜粋>

あっという間の学習会でした。税に不満がありながら、「どうせ・・・しかたがない・・・」と疑問も調べる事無く生活していましたが、刺激を受けました。消費税だけに限らず色々なことに目を向けていこうと思いました。

貴重なお話伺えてよい機会でした。所得再分配機能持つ社会保障として消費税は馴染まないということがよくわかりました。

問題の本質を丁寧に話しくださり、初めて全体像に近づいた感じがします。悪税というべき根拠についてもよく理解できました。制度がもつ欠陥がこれほど明らかになっているのにここまで続いてしまったこと、本当に大きな問題ですね。

消費税の仕組みがよくわかりました。生産業者が一番川下にあるながら、消費税は転嫁できない立場にあると思う。弱者に不公平な消費税は生活必需品ゼロ税率に!



久しぶりの学習会で理解できるかなと不安でしたが、熱のこもったお話に引き込まれました。

生活しているうえで消費税の仕組みについて理解していく必要があると考えさせられました。引き続き学習会に参加していきたい。

次回(第2回)は「インボイスの仕組み」をテーマに、10月19日(木)10時から鹿児島歴史・美術センター黎明館講堂にて開催しますお申し込みは下記まで